

# 令和3年度 宮城県防災実践向上等支援事業 女川町南区 ＊ 事業報告

令和4年2月25日(金)  
オンラインにて開催

対象地区 : 牡鹿郡女川町南区  
アドバイザー: NPO防災士会みやぎ  
鈴木 博行

## ■ 支援事業 \* 目標について

---

『自主防災組織の立ち上げ』  
と共に下記の課題解決を実施する。

- ①行政区住民らへの「共助」の重要性の理解促進
- ②自主防災組織役員(防災リーダー)の育成
- ③自主防災組織における会員各自の役割の理解促進
- ④必要資機材の整備

# 女川町南区について



- 戸建数: 76戸
- 世帯数: 85世帯
- 住民数: 223人  
(男107人、女116人)
- 地域の広さ: 32,000m<sup>2</sup>  
(外周経約800m)
- 海からの距離: 約500m
- 海からの高さ  
22.5m~35.0m

女川町の復興計画により南区は丘陵地帯の斜面に宅地造成されており、住宅地内の地盤は強固であり、災害のリスクは比較的低いと想定される。

## ■ 女川町南区について

女川町南区の住民の方々は、先の東日本大震災にて壊滅的な被害を受け高台への集団移転を余儀なくされ、その後住居を再建された新しい地区(行政区)であることから…

### 【実施前のアドバイザー考察として】

地域コミュニティ形成が不十分との事であるが、住民の方々は過去の経験で「住民の命と生活を守り抜く」ためには地域密着の取り組みをしながら「自主防災会の設立」は必要不可欠な事は共通理解されており認識度も高いはずである。

# ■アドバイザー支援内容

	日時	開催	内容	参加者
第1回	令和3年6月8日 19:00～ 女川町庁舎内	事前会議	①横田主査/事業の概要と進め方について ②武山主査/自主防組織に対する町の取り組みと現状説明 ③清水氏/南区の概要と現状について、これ迄の防災訓練の実施について ④アドバイザー鈴木/南区での要望等の確認、実施訓練の提案	宮城県/横田主査 女川町役場/武山主事 女川町南区/清水氏 アドバイザー/鈴木 * 計4名
第2回	令和3年6月21日 18:30～ 南区集会所	自主防災会 設立準備会①	【説明】 ①清水氏/(プレゼン)自主防災組織の仕組と南区で組織化した場合について ②アドバイザー鈴木/(プレゼン)自治会等での自主防災のあり方と組織構成提案 【議事】 * 南区自主防災会の設立案に対し、概ね了解の決議	宮城県/横田主査 南区/木村区長はじめ (仮)防災会役員 アドバイザー/鈴木 * 計21名
第3回	令和3年7月29日	自主防災会 設立準備会②	【説明】 ①清水氏/(仮)南区自主防災会の規約・防災計画等の説明 ②アドバイザー鈴木/規約に関する補足説明と防災計画での注意点をアドバイス * 一部の区民から「区の総会を経て設立の承認が必要」との事で 区長からは「総会には図るが、その事前準備として策定をしている」と返答	南区(仮)役員 千葉オブザーバー 女川社協職員 アドバイザー/鈴木 * 計16名
第4回	令和4年1月5日 17:00～ オンライン	3者会議	【報告・提案】 ①清水氏/南区内で自主防災会設立に関する意見書の報告 ②アドバイザー鈴木/1月中旬から2月初までに訓練実施可能かどうか ③2月開催の事業活動報告会について…横田主査	宮城県/横田主査 女川南区/清水氏 アドバイザー/鈴木 * 計3名
第5回	令和4年2月5日 18:30～ 石巻市	2者会議	①清水氏/区内の現状説明と設立総会までの予定・防災会構成員について ②事業報告会の打合せと報告書作成について	女川南区/清水氏 アドバイザー/鈴木 * 計2名



# ■アドバイザー支援の様子



◆令和3年度\*宮城県防災実践力向上支援事業

## 女川町南区自治会 自主防災会設立準備会



◆第1回(仮称)女川南区  
自主防災会設立準備会  
令和3年6月21日実施

【テーマ】防災会の設立に向けて  
その役割と組織形態・運営について  
の講話を実施

# 女川町南区から報告

女川町南区防災指導員: 清水 章宏

設立準備会の後、設立事務局にて設立に向けて活動を続けたが・・・

月 日		内 容
令和3年8月～9月初旬	設立事務局打合せ	臨時総会の開催により住民説明及び設立の同意を得ることとし、会則及び年間活動計画について策定。 また、設立に伴う設備等の導入について、県コミュニティ助成金の活用について検討。
令和3年9月20日	設立事務局打合せ	新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民の招集を行うべきではないと判断。 臨時総会について開催をせず、書面による意見書の徴収にて設立決議を諮るべく準備を進めることとした。
令和3年12月14日	住民同意資料配布	各世帯あて、自主防災組織設立の趣旨、組織の概要等の資料に併せ意見書(同意書)について配布。なお、多くの住民の同意を得られることと考え、同意については意見書の提出について不用とした。
令和4年1月10日	住民意見結果確認	75世帯中、72世帯の賛成(うち提出27世帯)3世帯の反対意見が出た。反対内容として「書面での意見徴収による設立方法は不適當では」「意見提出が無い世帯を賛同とすることはいかなものか」「改めて団体を立ち上げなくても区で対応できるのでは」というものがあり、設立事務局において <b>全住民の理解を得ずして設立は出来ないものと判断</b> し、年度内設立を見送ることとした。
令和4年2月7日	意見徴収結果通知	全世帯あて意見徴収結果と共に設立の見送りについて通知。

# ■ 女川町南区から報告

女川町南区防災指導員: 清水 章宏

結果として・・・**年度内の設立ならず**・・・しかし・・・

## 【設立反対！ではなく】

- ・設立を急ぎすぎて一部の区民の反対を受けてしまった
- ・最終的な設立についてはいずれの区民も「賛成」

## 【区民の声から新しい視点が】

- ・子供たちも参画できる防災組織になれば素敵
- ・南区の防災力は高い。共助として「区外の避難者を助ける」こともできる。そんな活動が出来る組織になれば良い。

## 【課題も見えてきた】

- ・会の規約も計画も教科書通り。本当にできるのか？
- ・平日いるのは老人のみ「やれる人でやれることしかやれない」
- ・区民の負担を増やさずに防災力を高めることができるか。

## レディメイドではない オーダーメイドの 防災組織を目指す

【例えば】

- 区と同じ組織で運営しつつ、新たに「災害対策員」等の役職を創設。
- 災害発生時、及び訓練等以外については、活動はしない。
- 一定の災害が発生した場合、避難場所に集合した区民らが区長等の指示でそれぞれが出来る事を行い、「誰が何をしなければならない」ということがない組織にする。
- 予算は区と同様にする・・・など  
時間をういて区民と組織を作り上げる



# ■ 女川町から報告

女川町企画課防災担当:主事 武山 龍平

- ・アドバイザーや区の協力により、町で4か所目となる自主防組織の設立と繋がったが、行政のサポートが及ばず、叶えることが出来なかった。
- ・今後の別行政区での立上げに際し、女川南区の自主防災組織の設立をテンプレートと出来ることも期待していたが、自主防災組織には特色ありきということを強く感じることができ、行政主導での立上げではなく、自主的な話し合いと課題の認識による「作り上げ」が大事と感じた。
- ・今後の設立に際しては、行政区民ではない「外部からの視点」として設立に参画しつつ、本件を例に未だ自主防災組織の設立に至らない行政区に対しアプローチをかけていきたい。

# 最後に...

## 地域力

(地域コミュニティ)



## 防災力

(自主防災会)

## アドバイザーから女川南区に期待する事

- 防災会の設立を目標とする具体的な活動や運営を検討する迄にはいかなかったが、区民の方々には今後防災に関する地域の課題などを拾い出し、地域づくりビジョンを策定されて更なる地域コミュニティの強化を目指して頂きたい。
- 全住民の合意の上での地域コミュニティ形成は『地域力』を益々高め、延いては南区の『防災力』の向上に期待したい。